

*Clearing House*はどこへ行く？

グループ討議メンバ

赤羽弘和(千葉工業大学)

伊藤幸博(東北大M2内田研>>朝日航洋)

大口 敬(東京都立大学)

柴田正雄(前橋工業大学)

長野俊平(東北大B4武山研>>進学)

船山 聡(千葉工大M1)

山下栄司(国土開発技術研究センター)

'00年度まで

WG5 + WS体制 : コンテンツの充実を図る
(含む英訳)
ITSの文脈でこの活動を宣伝する
(例: VERTIS 세미나)

'01以降の体制

CHのハードシステム : 東大のCSISに間借りする?
評価のコンテンツ : 今までの国土セでの活動の継続
UTMS協会/JSK/AHSRAなどでも
評価・公表活動を推進する
(メンバは今回と同じでも良い)



将来 VERTISのITSのCHの機能の一部になるよう働きかける
(HIDO経由で働きかけていく)

CHの機能



機能分担すべし

コンテンツ(データ/評価/マニュアル)

各々に関連する**組織**も分ける(人材は一緒でもいいが)

- ・コンテンツを構成するときの立場は中立でなくてもいい
(立場を明確にすれば良い
「中立だ」と言うのは不可能なはず



- ・CHの機能は透明性(中立)を確保すべし
土木学会の常設委員会活動へ
VERTISへ<電気・電子系/機械/応用物理?>